雪の音

ゆき　おと

Vol.124
平成27年6月15日発行

一般社団法人　建設コンサルタンツ協会　北陸支部

雪の音

CONTENTS　目 次　2015 June Vol.124

巻頭言	石川県における最近の土木情勢	石川県土木部長　常田功二	1
特　集	能越自動車道 七尾氷見道路 ～全線開通～	北陸地方整備局　富山河川国道事務所 金沢河川国道事務所	2
随　想	春の終わりの旅	田中美知子	6
寄稿文	地域の宝「白米千枚田」を後世へ	白米千枚田愛耕会　代表　堂前助之新	8
ちょっと気になるコーナー	台湾 夜の九份と中華料理	中越トラベル（朝日交通㈱観光部） 取締役支配人　山崎康裕	12
お知らせ	【完成発表】建設コンサルタントPR動画 教えて!ケンコンさん～建設コンサルタントの仕事と魅力～	広報部会	15
お知らせ	平成27年度（第33回）北陸支部定時総会	広報部会	16
お知らせ	平成26年度 独占禁止法等遵守に関する講習会	独占禁止法の遵守に関する特別部会	18
お知らせ	平成27年度 業務･研究発表会 ～継続的な技術研鑽のために～	技術部会　品質向上委員会	20
	北陸支部活動報告	事務局	21
	会員名簿 各部会･委員会委員名簿	事務局	32
	編集後記	熊倉孝次	

題　　字　元北陸地方建設局長
　　廣瀬　利雄　揮毫

表紙写真　春の訪れ田子倉ダム
撮 影 地　福島県只見町
撮 影 者　猪俣　孝之

巻　頭　言

石川県における最近の土木情勢

石川県土木部長
常 田 功 二

去る3月14日に県民の40年来の悲願であった北陸新幹線が金沢まで開業しました。本県では、これまで、新幹線の開業効果を県内全域に波及させるため、本県の幹線道路の整備方針である「ダブルラダー結いの道」整備構想に基づき、のと里山海道の無料化や内灘町千鳥台からかほく市白尾間の4車線化、金沢外環状道路海側幹線の金沢市鞍月から大河端町間の4車線化を完了させるなど、積極的に交流基盤の整備を進めてまいりました。

また、受け地の魅力向上対策として、主要観光地等における無電柱化や金沢城公園の整備など交流拠点の整備を進めてきました。特に兼六園と並び金沢都心部の観光資源の中核である金沢城公園では、金沢城三御門のうち最も格式が高いとされる橋爪門が完成したことで、金沢城の顔とも言うべき三の丸一帯の城郭景観が整ったところであり、「玉泉院丸跡」においても、石垣と池泉とが一体となった立体的で他には類を見ない城郭庭園である玉泉院丸庭園を完成させるとともに、週末を中心に年間150日程度、様々な色合いに変化する幻想的な夜間のライトアップを行うなど、本県を訪れる多くの方々に本県の歴史・伝統・文化をご堪能頂けるよう、おもてなしの観点からも様々な工夫を凝らしてまいりました。

このような取り組みもあって、開業後の1ヶ月間で、兼六園、金沢城公園ともに過去10年間の同期で最も多くの入場者数を記録し、兼六園では10年平均の1.8倍、金沢城公園でも2.5倍に増加しているほか、県内各地の主要幹線道路の交通量が増加し、観光地においても賑わいを見せるなど、開業効果の大きさを実感しているところであります。

引き続き、開業効果を持続・発展させるため、加賀海浜産業道路の手取川架橋や、のと里山海道の柳田ICから上棚矢駄IC間の4車線化、鼠多門、鼠多門橋の復元を柱とした金沢城公園の第三期整備計画に取り組むなど、広域交流基盤などの整備を促進することとしております。

一方、昨年は広島の豪雨災害を始め、全国各地で集中豪雨等による大きな災害が発生しました。本県においても、羽咋市で観測史上最大の24時間雨量を記録した集中豪雨により、がけ崩れや土石流による被害が発生しました。県では頻発するこれら土砂災害から県民の安全・安心を確保するため、土砂災害対策の強化に取り組むこととし、自力での避難が困難な方々が利用する施設周辺の土石流対策を今後５年間で重点的に行うこととしました。また、ソフト対策として、土砂災害警戒区域の指定についても昨年度末で県内全ての区域指定を完了させるとともに、行政・学識経験者・住民代表により構成する土砂災害対策連絡会を新たに立ち上げ、先般、住民の防災意識の向上や迅速な避難行動につなげていくための土砂災害対策アクションプログラムを策定したところであり、今後とも県民生活の安全・安心を確保するため、ソフト・ハードの両面から防災・減災対策にしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

公共事業予算については、全国的にも増加傾向にあり、本県の今年度予算についても、3年連続で前年度を上回る額を確保しました。今後は、北陸新幹線開業という本県にとって百年に一度のチャンスを生かすため、開業準備から活用のステージにもう一段のギアチェンジを行い、しっかりと社会資本整備を進めていきたいと考えております。建設コンサルタンツ協会の会員の皆様方におかれましても、今後とも技術力の向上や人材の育成に努められ、本県の更なる発展にご尽力いただくことを期待いたしますとともに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍を祈念申し上げます。

能越自動車道 七尾氷見道路 ～全線開通～

北陸地方整備局　富山河川国道事務所　金沢河川国道事務所

1. はじめに

平成27年2月28日に一般国道470号能越自動車道七尾氷見道路が北陸新幹線金沢開業に先がけ全線開通しました。

本稿では、能越自動車道及び七尾氷見道路の概要、工事や整備効果等についてご紹介します。

2. 能越自動車道、七尾氷見道路の概要

能越自動車道は、北陸自動車道や東海北陸自動車道と連携し、能登半島地域と三大都市圏を結ぶ高規格幹線道路であり、一般国道の自動車専用道路として整備を進めてきました。

七尾氷見道路は、石川県七尾ICから富山県氷見ICに至る延長約28kmの道路で、平成8年度の事業化以降、順次開通区間を延伸し、今回石川県内の七尾ICから七尾城山IC間の3.2km、七尾大泊ICから富山県の灘浦IC間7.1kmの開通により、七尾氷見道路が全線開通しました。

七尾氷見道路の全線開通により石川県の七尾ICから富山県の小矢部JCT間の約57㎞区間がつながり、石川県内の能登空港ICから田鶴浜IC（のと里山海道の重用区間を含む）までの約38㎞区間とあわせて約95㎞が開通しました。

3. 工事の状況

七尾氷見道路は能登半島や氷見の丘陵地を通過するため、構造物（橋梁、トンネル）の比率が大きいことが特徴です。能越自動車道で最長の城山高架橋835m、七尾トンネル1,760m、藪田宇波トンネル1,645mなど29橋梁、13トンネルが存在し、構造物比率は約43%になります。

また、土工区間も七尾市千野、古府地区や氷見市脇、中波地区では大規模な切土・盛土を施工しました。

■橋梁区間（全29橋、総延長約3.6km）

架橋位置の地形・地質等条件により、様々な工法を採用しています。

能越道で最長（橋長835m）の城山（じょうやま）高架橋は、旧七尾城の外周に位置することから埋蔵文化財に配慮した橋梁形式を採用するすると共に、移動式作業車による張出架設工法で施工しました。

城山高架橋

大規模な盛土工事

■トンネル区間（全13本、総延長約8.3km）

今回の供用区間では、富山県側で5本、延長約2.6kmのトンネルがあります。

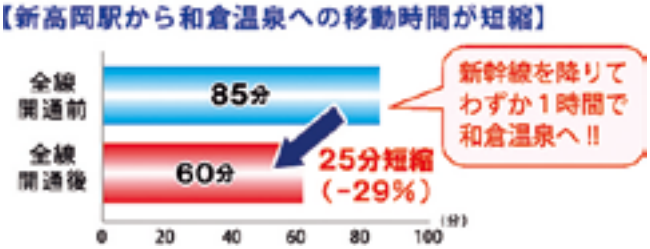
■土工区間

平成25年3月の部分開通後も残る10.3kmの区間で226万㎥の切土（トンネル含む）、190万㎥の盛土が残り、大規模な土工事を実施しました。

4. 整備効果

■能登を周遊できる（発見・滞在）

七尾氷見道路沿線には、和倉温泉やひみ番屋街など観光地が多数存在しています。七尾氷見道路の全線開通により、能登地域の観光地への連絡性が大幅に改善され、能登地域がより身近になります。



七尾氷見道路の有無で比較

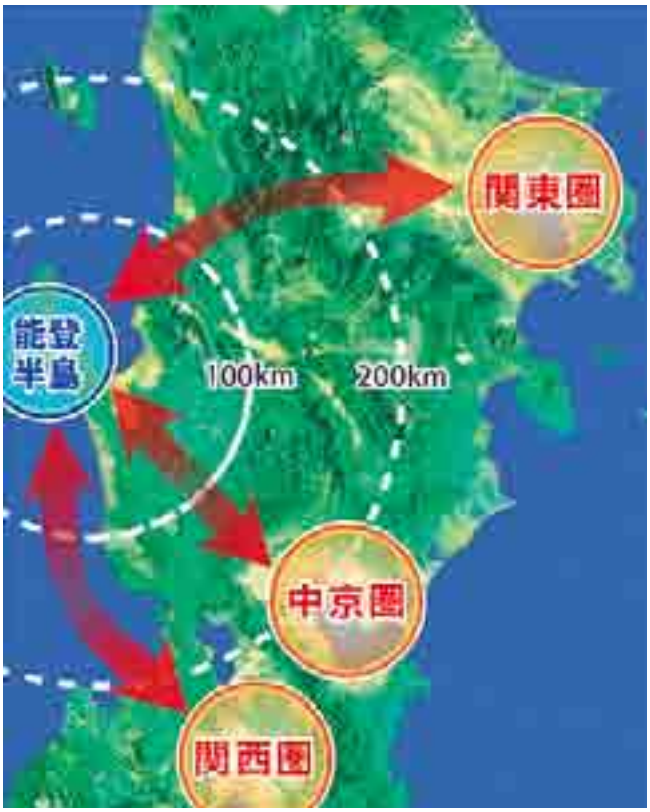
「能越道」、「のと里山海道」などで能登半島をぐるっと周遊する観光ルートも便利になります。

高岡と和倉温泉間を結ぶ路線バス「わくライナー」は、能越道七尾城山IC～高岡IC間（無料区間）を走行し、高岡と和倉温泉を約1時間40分で結びます。3月14日より1日4往復で12月31日まで毎日運行されています。

■街と街・人と人を結ぶ（交流・速達）

七尾氷見道路の全線開通で、石川・富山県はもとより、三大都市圏などとの結びつきが強化され、県外からの集客や漁業を中心とした能登の主要産業の物流を支援します。

また、輪島市朝市組合は、岐阜県高山市の高山陣屋前朝市組合、飛騨高山宮川朝市協同組合と連携交流協定を締結し、課題解決・活性化を図っていくなど新たな交流が生まれています。



三大都市圏との結びつき強化

天然ふぐ類の漁獲量

■人に優しい（安全・安心）

七尾氷見道路と並行する国道160号では、大雨・越波・土砂災害等により、通行規制が発生しています。

全線開通により、国道160号を迂回する代替ルートが形成され、緊急時でも安全な通行を確保します。

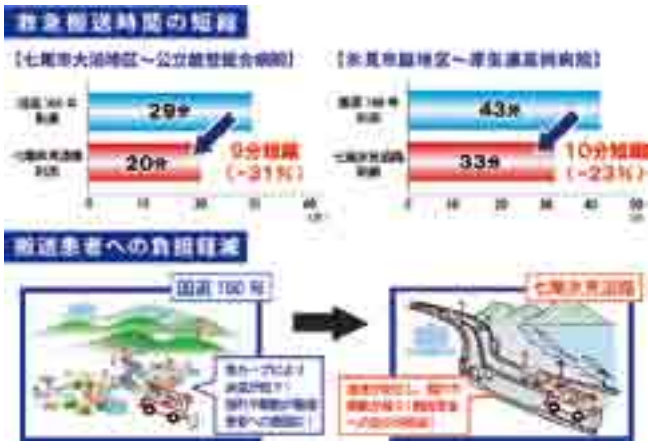
国道160号の通行止め発生と七尾氷見道路

歩行者と大型車が混在する幅員の狭い国道160号

急カーブの多く連続する国道160号

国道160号では、交通が七尾氷見道路に転換し、交通事故の減少が期待されます。

七尾氷見道路と160号を利用した救急搬送経路



走行性・快適性に優れ、救急病院への搬送時間が短縮するほか、搬送患者への負担も軽減されます。

5. 開通式典

平成27年2月28日には、石川・富山両県において各々開通式典が開かれ、知事を始め多く方が全線開通を祝福しました。

開通式典（七尾会場）

開通式典（氷見会場）

石川・富山県境では両県で繋いできた「たすき」の受け渡しが行われ、地元の方々も参加して記念撮影も行われました。

石川・富山県境でのセレモニー状況

6. 交通の状況

開通後（休日）の石川・富山県境の交通量は、約2.4倍に増加しています。

交通量観測箇所（県境付近）	開通前 (H26.3.8-9)【土日平均】	開通後 (H27.3.7-8)【土日平均】	交通量の増減
①国道160号（氷見市脇地先）	4,000	1,400	－2,600（約7割減少）
②七尾氷見道路（七尾大泊IC～灘浦IC）	-	8,300	-
国道160号＋七尾氷見道路（①＋②）	**4,000**	**9,700**	**＋5,700（約2.4倍増加）**

【道の駅 能登食祭市場】

・H27.3.9ヒヤリングによると休日来客数は、約4,750人／日となり、前年比で約6割増加しています。平日も2～3割増加しています。
・特に、富山・中京方面ナンバーの車が多く、売上げも3～4割程度増加するなど、全線開通の効果が見られます。

【道の駅 ひみ番屋街】

・H27.3.9ヒヤリングによると、3月8日（日）は前年比の約2割増の約5,400人の来場者があり、特に、石川・金沢ナンバーの車が増加するなど、全線開通により広域化が図られています。

7. おわりに

七尾氷見道路の全線開通と共に北陸新幹線の開業を迎え、地域では様々な取り組みが展開され、これまでにない賑わいを見せています。

社会資本の整備が地域の取り組みにインパクトを与え、一体となって今後さらに地域が発展していくことを期待しています。

随想　春の終わりの旅

田中美知子

窓の外のライラックの白い細かな花房や、ハート形の葉が風に揺れて、木洩れ日がカーテンに落とす影も揺れる。この木の下が好きだった犬が、気持ち良さそうに目を細めて横たわる姿が思い出された。

少し前の夕方、買い物帰りに足を延ばして、久しぶりに犬と散歩したコースを歩いてみた。通りを雑貨屋の前を過ぎて、右に折れる角の民家の庭には大きな白木蓮の木があり、いつも立ち止まって眺めた。夕暮れにほの白く、女の笑った口元のような花びらを見上げると、めまいのするような夢幻な感じがした。だが、その木蓮はしばらく通らない間に枯れてしまったのだろうか。黒っぽい木は残っていたが、今年花をつけた様子がない。見事な木だったのにと大変残念に思いながら帰って来た。

さて、この時期は山麓に咲く花や心ひかれる展覧会などを求めて、山形方面へ行ってみようと思いたち、夫と出掛ける。

車は海沿いの道を2時間で温海に入る。数年振りに訪ねる蕎麦屋さんで昼食。相変わらずの繁盛ぶりだ。蕎麦はもちろんのこと、青菜漬けで包み味噌をつけて焼いたおにぎり「弁慶めし」は誠においしく、蕎麦の後でも食べたくなるが大きいので半分ずつにする。

店を出ると鳥海山が見えた。夫は仙台赴任時代から定年前の数年間東北担当だったので、山形方面には何十回となく通ったが、常に雲がかかっていてこんなに山の姿が見えることは珍しいと言う。山裾にも雪は残るが、春から夏に向かう青い山がくっきりと美しい。

車は再び海沿いを右側に桜、辛夷、白木蓮、紫木蓮などが咲き競う山々を見ながら進む。新潟では順々に咲く花たちだが、東北の遅い春は一斉に花が開花して迎えてくれるのだ。

まず一番行きたかった酒田市美術館の「川岸富士男の世界展～椿と四季の草花譜～」を見る。1977年より、年1冊のみ全10冊製作された、表紙から裏表紙のデザインまですべて手書きの植物画「翠花」や四季の草花の軸や額。代表作の椿絵など200点。江戸時代の絵師を思わせ、しかも現代的な装飾性を備えた作風と言われる川岸氏だが、何気ない庭先や路地にひっそりと咲く花の細密な水彩画に魅せられた。

中でも八つ手の白い花に、幼い頃生家の狭い庭にあったその木を思い出した。八つに分かれた大きな葉と黄白色の小さな花。初夏には紫がかった黒い実をつけた。ばらばらにした花や、つぶすと紫の汁の滲む実で姉や幼馴染とままごと遊びをした。夏は葉っぱに隠れて、たらいで行水をした。

庭には額紫陽花もあった。庭木は父が好んで植えたもののようだった。だが母は八つ手や色味の薄い額紫陽花などをあまり気に入らない様子で、面白味のない木だと言うので、そのせいか私も子供心に家にはなんでこんな地味な花しかないのだろう。もっと華やかできれいな色の花なら良いのにと思っていた。しかし繊細に描かれたこれらの花たちの、垢ぬけた味わいの深さに改めて気付かされた。なかなかお洒落に見えた父の趣味はやはり良かったのかと思いながら、懐かしい気持ちで飽かず眺めていた。

会場の受付で年配の男性を見かけ、夫が「画家ご本人らしいよ」と言っていたが、なんとサインをお願いしたという。その大胆な行動に驚いたが、画家川岸氏は丁寧な物腰の感じの良い方だった。氏は40年ほど前に新潟を訪ねた話をされ、刈入れ時期の稲束を掛けた「はさ木」の風景に

惹かれ、あんな絵こそ描きたいと思われたそうだ。米どころ新潟でも、もう「はさ木」はあまり見られなくなってしまったが、是非新潟らしい植物を描いて展覧会を開いていただきたいと思った。二人分のチケットの裏にそれぞれ書いてくださった「日常を楽しむ」「淡々と続ける」の柔らかな文字と言葉が、今の自分の気持ちに素直に沁みて有り難かった。

酒田市内の名所、江戸時代に日本一の豪商、大地主として栄えた本間家旧本邸へ。書院造りの武家屋敷と本間家が生活した商家造りとが一体となった、全国にも例を見ない珍しい建築様式とか。地域貢献の為に尽くした本間家の気概や精神は、武士以上のものだったのだろう。

広大な屋敷内では丁度「端午の節句と刀装具展」が開かれていた。銀鼠の鷹の羽がびっしりと施された羽根屏風の豪華さ。紅花染めの糸の鮮やかな鎧。又、初めて目にする勇荘な旗差し物の飾りに、思わず芭蕉の奥の細道の中の「笈も太刀も五月に飾れ紙幟」の句が浮かんだ。北前船でもたらされた文化や、町の勢い、にぎわいを思った。

酒田を後にして、鶴岡市の日本海を一望出来る宿に泊る。翌日はくらげ好きな息子推薦の鶴岡市立加茂水族館へ。豊富な種類のくらげが青や紫色に、きらきら、ゆらゆらと幻想的に浮遊する館内は、文字通り癒しの空間。いつまででもぼーっとそこにいたくなる。しかしそうもしていられず、旅の最後にやはり見ておきたかった土門拳記念館へ向かうべく、再び酒田へ戻る。

湖面に浮かぶような建物がスタイリッシュな記念館を訪れるのはこれで二度目。写真家土門拳が、尊敬する人や親しい人たちを撮影した写真集『風貌』の中から「昭和の文士」と題して川端康成、三島由紀夫、志賀直哉などを撮影した作品が展示されていた。展示室の入り口に「いい写真というものは写したのではなくて、写ったのである。計算を踏みはずした時にだけそういういい写真が出来る。僕はそれを、鬼が手伝った写真と言っている。肖像写真とは、カメラを通して描く写される人自身の、いわば自画像である。」～『風貌』アルス28年より抜粋～との土門氏の印象的な言葉が。

作品の中でも、荒城の月で有名な詩人土井晩翠の写真が目をひいた。晩年の詩人はすでに重い病で床に臥していた。横向きの老詩人の少し口の開いた表情は切なそうにも見えるが、それ以上に明治の男の厳めしい近寄りがたさを強く感じさせた。詩人の苦しい呼吸を計って、息を抜いた瞬間に抜き打ちにシャッターを切ったというような土門氏の文に、空恐ろしささえ覚えた。

以前仙台で晩翠草堂を見学した。仙台市の街中にあって、いわゆる晩翠通りの近くのなんということのない昭和の古い木造家屋だった。詩人が亡くなる日まで寝ていた、病院にあるようないかにも寝台といったふうな無骨なベッドだけが心に残っていた。病床にありながら、その日は羽織袴に着替えて端然として撮影に向かった詩人と、写真家の鬼気迫るほどのシャッターチャンスへの粘りを思うと、あのただ殺風景にも見えた部屋をもう一度訪ねてみたくなった。まさに鬼が手伝った迫力溢れる写真と添えられた魅力的な文章に見入って、帰りの時間が大幅に遅れてしまった。

新潟への帰途、山では私の好きな桐の木が、まだ花芽は独特の黒い三角錐状の形をして開花を待っていた。五月の連休の頃、夫のいた仙台を訪ね東北を行き帰りする高速バスの窓から桐の木がよく見られた。その時々に言い知れぬ不安や安堵や懐かしさに包まれて、薄紫にけむる花を眺めていた。今度は桐の花の満開の頃に運転手さん、できればまたお願いしますとつぶやいた。

プロフィール　田中美知子

1950年　新潟市生まれ
1993年　サッポロビール　ハガキエッセイ
「私の冬物語」優秀賞
1994年　「扉を開けたら」ロマンの泉美術館物語に執筆
2003年　住友信託銀行「60歳のラブレター」金賞他

地域の宝「白米千枚田」を後世へ

白米千枚田愛耕会　代表　堂前助之新

石川県輪島市は、本州ほぼ中央の日本海側に弧状に突き出た能登半島の北部に位置します。

南北約160kmの石川県は能登地域と加賀地域に大きく二分され、能登地域はさらに口能登、中能登、奥能登に分けられます。奥能登に属する輪島市は、東は珠洲市、東南には奥能登最高峰である高洲山（567m）を隔てて能登町、南は穴水町に接する。北は日本海に面し、東西に約82kmの海岸線を有します。また、輪島市域より約48km離れた北方海上には舳倉島が、その中間の約23kmの離れたところには七ツ島が点在する。

白米千枚田が所在する白米町は、市街地より国道249号線を通り、東方約8kmに位置し、行政区域としては南志見地区に属します。南志見地区西部に位置する白米町は高洲山の山裾に立地し、東は谷山川を町境に野田町、西は深見町、北は約1kmの海岸線に接しており、町域面積約39haを測る南北に長細い形状を呈している。集落は、標高約60mの本村と呼ばれる地域と標高約55mの六軒地とよばれる地域に集中しております。

白米千枚田は、日本海に面して小区画の棚田がつらなり、その美しい棚田景観は多くの観光客に親しまれています。昭和45年前後から徐々に耕作者の高齢化などによる農業の担い手が減少し、棚田の荒廃が進み、景観の維持が困難となってきました。継続的な棚田の耕作を支援するため、石川県と輪島市による耕作補助金の交付やボランティア制度による耕作協力、さらには平成5年に財団法人千枚田景勝保存基金が設立され、官民一体となって景観の維持が図られてきました。これらの取り組みや文化的価値が評価され、平成13年1月29日付けで、国の名勝に指定されております。

平成23年6月に「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定されてから、白米千枚田はその代表的な棚田とされ、多くの観光客で賑わっておりますが、地元耕作者の高齢化・後継者不足が進み、耕作の継続が最重要課題となっています。その白米千枚田の景観保全のために様々な取り組みが行われて参りました。

白米町上空から

白米千枚田前景

1. 白米千枚田景観保全活動

白米千枚田は昭和40年代後半から50年代にかけて、減反政策と全国的に農業の機械化が進み、機械が入らない千枚田では徐々に耕作放棄地が目立ってきました。この当時の千枚田の窮状をラジオで聞いた愛知県立安城東高校が、昭和57年から平成3年まで10年間にわたり、勤労体験学習とした修学旅行で輪島市を訪れ、白米千枚田で草刈作業をしてくれました。延べ参加生徒数は約4,500人で、その光景は草刈十字軍と呼ばれ、当時の草刈り作業がマスメディアに大きく取り上げられ、全国に千枚田耕作の危機の実情が知られたことにより、この貴重な景観を守ろうという気運が高まり、千枚田の景観保全に繋がる契機になりました。

安城東高校草刈り1

安城東高校草刈り2

平成4年に千枚田耕作ボランティア組織が発足し、それ以来、年々大勢のボランティアの方々が、田植え、草刈り、稲刈りなどの作業に参加してもらえるようになり、平成5年には白米千枚田の景観保全と観光誘客を目的に、財団法人千枚田景勝保存基金が設立される等官民一体となって白米千枚田の景観を守ってまいりました。しかしながら、少子高齢化、過疎化は年々進み、地元耕作者が減少する中、白米千枚田の景観を守るために、平成18年に南志見地区有志で白米千枚田愛耕会を設立し、オーナー制度の耕作指導・耕作管理を担うことになりました。そして、翌年平成19年から待ち望まれていた白米千枚田オーナー制度をスタートすることができました。発足時のオーナー会員は54名であり会員数は年々増加し、現在はオーナー制度で約440枚の田んぼを耕作するようになりました。オーナー会員の約半数が首都圏からの会員であり、中部、関西、東北地方等全国から参加いただき、白米千枚田の耕作を通じて交流人口の拡大を目指しております。

【白米千枚田オーナー制度概要】

□オーナー会員

会費2万円（収穫米10kg進呈）、
マイ田んぼが持てる。

□トラスト会員

会費1万円（収穫米5kg進呈）、
作業参加ができる。

□企業会員

会費5万円（収穫米20kg進呈）、
マイ田んぼが持てる。

□特別名誉会員

9名（安倍昭恵、小泉純一郎、小泉進次郎、今井彰、永井豪、ちばてつや、さいとう・たかを、北京飯店、水木一郎）会費無し、任期は3年

オーナー制度の作業は年7回田起こしに始まり、あぜ塗り、田植え、草刈り（3回）、稲刈りの計7回行っております。手作業による耕作で大変ですが、楽しく汗を流しております。

オーナー会員による田植え

オーナー会員による稲刈り

その他、平成26年から北陸農政局の呼びかけにより、北陸農政局管内大学生農業サークルが集まって白米千枚田の耕作を応援していただいております。平成26年には田植え、田の中の草取り、稲刈りをしていただきました。平成27年からはあぜ塗りにも挑戦してもらい、大学生による白米千枚田耕作支援の定着化を図っていきたいと思います。

大学生田植え

大学生稲刈り

2. イベントの開催等による観光誘客

白米千枚田では景観を守るために田の耕作の他に様々なイベントも行われております。

白米千枚田に特設神殿を設置して、田の神様の下で行う結婚式が平成12年から行われており、これまでに30組のカップルが結婚式を執り行いました。その他、耕作を終えた田んぼの畦に太陽光発電LED装置2万1千個を設置して棚田を照らす「あぜのきらめき」を開催し、観光誘客及び価値の向上を図っています。「あぜのきらめき」は平成23年にスタートし、年々観光客も増加しており、冬場の観光の目玉として大変に好評を得ております。そして、平成26年には昔ながらの伝統的農法「水苗代田」を復活させ、そこで育苗をして稲作を行う等白米千枚田を「日本農業の聖地」として聖地化を推進し、その保存継承に努めております。水苗代田での育苗はうまくいくかどうか非常に心配でありましたが、天候にも恵まれ、いきいきとした苗を育てることができました。

白米千枚田あぜのきらめき

伝統的農法「水稲代田」での育苗

3. 道の駅千枚田ポケットパークの管理運営

白米千枚田に隣接する「道の駅千枚田ポケットパーク」の中にある「輪島市千枚田レストハウス」は平成25年11月にリニューアルオープンし、その管理運営は指定管理で白米千枚田の保全活動を行っている公益財団法人白米千枚田景勝保存協議会が行っております。その中にある物販・飲食施設を白米千枚田を耕作している南志見地区の者が運営し、地元で採れた農産物の販売や飲食の提供による地域の6次産業化を推進しています。地域の雇用の場とし、レストハウスの売上の向上による地域の活性化が白米千枚田の保全につながるような仕組みの構築を目指しております。

これらの取り組みによって、観光誘客及び地域の活性化を図り、白米千枚田を「地域の宝」として景勝や文化を次世代に受け継いでいくことを目指しております。

道の駅千枚田ポケットパーク

輪島市千枚田レストハウス物販施設

● 白米千枚田の主な出来事

昭和31年（1956）	輪島市文化財指定名勝
昭和57年（1982）	愛知県安城東高校草刈りボランティアスタート（10年間）
平成２年（1990）	千枚田ポケットパーク整備
平成４年（1992）	ボランティア耕作スタート
	千枚田ポケットパーク　手づくり郷土賞（一般部門）受賞
平成５年（1993）	財団法人千枚田景勝保存基金設立
	千枚田ポケットパーク　道の駅認定
平成11年（1999）	全国棚田100選（農水省）
平成12年（2000）	石川県文化財指定名勝
	千枚田結婚式スタート
平成13年（2001）	国指定文化財名勝
平成18年（2006）	白米千枚田愛耕会設立
平成19年（2007）	白米千枚田オーナー制度スタート
平成20年（2008）	白米千枚田あぜの万燈（あかり）スタート（平成25年まで）
平成23年（2011）	「能登の里山里海」世界農業遺産認定
	白米千枚田あぜのきらめきスタート
平成25年（2013）	公益財団法人白米千枚田景勝保存協議会に移行
	道の駅　千枚田ポケットパークリニューアルオープン
平成26年（2014）	伝統的農法苗代田の復活
平成27年（2015）	千枚田ポケットパーク　手づくり郷土賞（大賞部門）受賞

ちょっと
気になる
コーナー

台湾
夜の九份と中華料理

中越トラベル（朝日交通㈱観光部）　取締役支配人　山崎康裕

いよいよ梅雨に入る時期となってまいりました。ジメジメした季節は、気持ちも落ち込みます。

今回は、久しぶりに台湾の九份に添乗員として行って参りましたのでご案内致します。

夕方の九份

九份は、台北の北東部に位置し、港町「基隆市」の東部に位置しています。近くに日本統治時代に金鉱で栄えた街として有名で、年配の方は分かると思いますが映画「非情城市」の舞台となった場所です。狭い土地を有効に活用して斜面に住居や茶藝館やお土産店が並び石段を上ると海を見渡せる場所です。1つの山が街になった様に感じます。

アニメ映画「千と千尋の神隠し（ジブリ）」は、ご存知でしょうか？このアニメの舞台である「油屋」のモデルになった場所とも言われています。他にもモデルと言われている場所は、道後温泉「道後温泉本館」（木造で共同浴場）や渋温泉「金具屋」（木造3階建ての建物）、四万温泉「積善館本館」（入口の赤い橋）などが有名です。この3か所は、私も訪ねた事が有ります。見た感じでは、確かにモデルと言っても問題ないと思います。つまり、全て正しいと思います。

鉱山のトロッコ入口（千と千尋の神隠しのトンネル？）

夕方の九份の長い階段

しかし、私が最もモデル舞台として間違いないと思う場所が「台湾の九份」です。夜の九份を訪ねると実感致します。木造の建物と赤い提灯、山のように積まれた食材の屋台など「千と千尋の神隠し」の映像が目の前にあるのです。日本の建物に赤い提灯を連ねて飾ることはありません。道に面した場所に食材を並べる習慣もありません。ところが九份は、目の前に全てあります。間違いなく、モデル舞台と言っても過言ではありません。観光のオプショナルツアーでは、昼間のツアーが多く、実感出来ないかもしれませんが「夜の九份」を体験してください。時間が有れば、十份とのミニチア気球（蝋燭と紙の気球）も体験してみては、如何でしょうか？

九份の木造の建物と赤い提灯

千と千尋の…雰囲気満点

久しぶりの台湾なので台湾の食事をご紹介致します

今回は、3泊4日でしたので様々な料理をツアーに組み入れました。初日は、移動なので機内食と乗り換えの時間を利用して仁川空港のレストランで焼き肉。2日目の昼食は、台湾料理の名店「梅子レストラン」の台湾料理。夕食は、九份の郷土料理。

九份の郷土料理

前菜

蒸し野菜

紹興酒蒸し海老

豚の醤油煮

淡水魚の蒸し物

キャベツの炒め物

魚のすり身スープ

デザートと芋餅

折角なので食後の運動を兼ねて士林夜市の屋台へ

様々な屋台が有ります。容器は、使い捨てを利用している店舗で購入。

士林夜市の屋台

筆者、美人に囲まれご満悦

3日目は、烏来観光なので郷土料理??確か不味かった!!急遽、変更して広東料理!!皆さんが最も好まれる「飲茶」!烏来の観光なので地元の食事も考えましたが…美味しくないので、台北へ戻り、広東料理でした。

夕食は、北京料理（小籠包）をインターネットで予約して、ホテルから徒歩で店に向かいました。

以前、台北で「小籠包」No.1に輝いた店舗なので期待して行きました。「うまい!!」ついつい追加注文をしてしまいました。

朝食は、ビッフェ式なので好きなものを好きなだけ食べれます。観光で行かれる際の便利アイテムは、「ふりかけ」と「インスタント味噌汁」。この2つは是非持参してください。添乗員を30年以上もしている私は、今でも必ず持参しています。

台湾での食事は、日本人向けにアレンジしてありますが本場の物と遜色ない味です。中国本土の中華料理よりも美味しい事は、間違いありません。是非、台湾をお訪ね下さい。親日家も多いので…。

烏来の河川敷の温泉（熱いので川の水で調整）
※普通の温泉宿もあるのでご安心を…

お知らせ

【完成発表】建設コンサルタントPR動画 教えて！ケンコンさん

〈広報部会〉

後援：北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県

建設コンサルタントの仕事内容や魅力を分かりやすく伝えるPR動画

教えて！ケンコンさん ～建設コンサルタントの仕事と魅力～ を製作しました。

▌概要

・近年、土木学科等の工学系を目指す学生の減少から、将来、建設コンサルタントを担う人材の確保が課題となってきています。
・そこで、建設コンサルタンツ協会北陸支部では、建設コンサルタントの仕事内容や魅力を分かりやすく伝えるPR動画（約6分間）を製作しました。
・この動画は、小学生、中学生、高校生を主なターゲットとし、動画を通じて建設コンサルタントを目指す工学系の大学生を増やしていきたいと考えております。
・動画のなかでは、メインキャラクター「Mr.ケンコン」が女子高校生の疑問に答える形で建設コンサルタントの仕事内容や魅力を伝えています。
・また、建設コンサルタントで活躍する若者や、これまで調査・計画・設計してきた道路、河川、公園などの事例も紹介しています。

▌動画概要

■Mr.ケンコンが建設コンサルタントを分かりやすく紹介

■建設コンサルタントの役割や仕事の内容を紹介

■建コンで活躍している若手技術者の仕事の様子とプライベートを紹介

■これまでに取り組んできた具体的な事例を写真で紹介

▌動画の活用方法

・建設コンサルタンツ協会北陸支部公式YouTubeチャンネルを開設し、動画を配信
https://www.youtube.com/channel/UCAmrZYDEZ5NXZA7YD-1tsOg
・建設コンサルタンツ協会北陸支部公式ホームページでの配信
http://www.hr-jcca.jp/
・その他
会員（64社 ※H27.6現在）のホームページでの配信。学校への説明会での活用。

YouTube 教えて！ケンコンさん で検索！

教えて！ケンコンさん
～建設コンサルタントの仕事と魅力～

お知らせ

平成27年度（第33回）北陸支部定時総会

〈広報部会〉

去る平成27年4月23日（木）ホテルイタリア軒において、平成27年度第33回北陸支部定時総会が開催されました。

総会は、出席会員の確認、総会成立宣言に続き寺本支部長の挨拶がありました。

寺本支部長の挨拶

その後議長より、議事録署名人が委嘱され議事に入りました。

議事録署名人

日本工営㈱
新潟支店長　澤田　集一　様
パシフィックコンサルタント㈱北陸支社
支社長　梶原　亘　様

議事の審議は以下のとおりで、原案どおり承認されました。

第1号議案　平成26年度事業報告
第2号議案　平成26年度収入支出決算報告
監査報告
第3号議案　平成27年度事業計画（案）
第4号議案　平成27年度収入支出予算（案）
第5号議案　役員選任

北陸支部　役員名簿

支部長	寺本　邦一	開発技建㈱
副支部長	新家　久司	㈱国土開発センター
副支部長	吉田　　攻	㈱大日本コンサルタント
副支部長	中俣　　孝	㈱構造技研新潟
運営委員長	高田　一博	開発技建㈱
運営委員	金子　慶一	㈱国土開発センター
運営委員	大平　　豊	エヌシーイー㈱
運営委員	涌井　正樹	㈱キタック
運営委員	瀬川光太郎	㈱建成コンサルタント
運営委員	大川　重雄	㈱建設技術研究所
運営委員	黒木　康生	㈱日本海コンサルタント
監事	高堂　景寿	相互技術㈱
監事	吉楽　雅博	大原技術㈱

新入会員の紹介

新日本技研㈱　新潟事務所　様
㈱村尾技建　様

2社の入会が報告されました。

議事の様子

総会後、講演会を開催いたしました。講演の内容は以下のとおりです。

講師　一般財団法人道路管理センター
審議役　大寺　伸幸　氏
演題　「今後の道路管理と道路管理システム」
略歴

昭和55年4月	建設省入省
平成3年5月	建設省道路局企画課長補佐
平成3年7月	同大臣官房政策課 計画官
平成6年4月	市川市建設局長
平成9年4月	建設省道路局道路環境課　沿道環境専門官
平成10年1月	同中部地方建設局　岡山国道事務所長
平成12年5月	同関東地方建設局　道路部　道路企画官
平成15年4月	宮崎県　土木部高速道対策局長
平成17年4月	国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長
平成19年7月	同北海道開発局　函館開発建設部長
平成20年12月	北陸地方整備局道路部長

講演内容は以下のとおりです。

道路管理システムROADISについて

1. ROADISの管理機能
手続きの電子化による迅速化・効率化
道路工事調整の円滑化
地下埋設物占用物件の適正管理
電線共同溝の適正管理、手続き等の迅速化

2. ROADISの構築・運用
国家プロジェクトとしての構築と整備
道路管理者、公益事業者の共同構築・運営

3. ROADIS導入による社会貢献
埋設状況の事前把握により事故防止
膨大な件数の計画調整の円滑化
電子申請による迅速化
道路地下空間の計画的・効率的活用

4. ROADISのソフトウエア構成
道路占用許可申請ソフトウエア
道路工事調整ソフトウエア
道路・占用物件管理ソフトウエア
電線共同溝管理ソフトウエア

5. ROADIS運用業務の概要
道路占用許可申請業務
・申請書、位置図、平面図、断面図作成
・許可審査の進捗状況検索
・占用数量等の集計、統計
道路工事調整業務
・調整会議資料の作成
・調整結果による図面及び調書作成
道路・占用物件管理業務
・地形、占用物件をデータベース化
・占用物件状況の険悪・図面出力
・各種図面のファイリング連動
電線共同溝管理業務
・占用申請・許可、敷設届受理、占用料計算等
・埋設位置情報、電線類の管理機能

6. 運用実績と事例
・阪神淡路大震災での事例（神戸市）
・東日本大震災での事例（千葉市）

GISを活用した道路占用物件の管理等を支援するど「道路管理システムRADIS」について、機能・運用等について、事例を踏まえわかりやすく解説していただきました。我々の生活基盤である公益物件は都市・地域の活動を支えるライフラインであり、今後の道路占用物件の管理を円滑に進めるための管理システムの紹介でした。今後はモバイル・ウェブGIS技術の活用により更なる充実が期待されるところであります。

講演の様子

講演会の様子

お知らせ

平成26年度
独占禁止法等遵守に関する講習会

〈独占禁止法の遵守に関する特別部会〉

平成26年度の新潟地区での独占禁止法等遵守に関する講習会は、平成27年3月12日に開催され、会員会社の役員・社員の総数60名余の参加がありました。

開会挨拶　小野塚副支部長

今回の講習は、平山勝也法律事務所の平山弁護士（三条市在住）から

「コンプライアンスとは…－独禁法と裁判例から考える－」

と題して、独占禁止法およびコンプライアンスとの関連事項をとりあげていただきました。

講演する平山勝也弁護士

講習では、大きく3つのテーマについて話をされましたが、内容は以下のとおりでした。

テーマ1．コンプライアンスについて

（1）なぜ、コンプライアンスが重要なのか

（2）どのようにコンプライアンスに取り組むか

・独占禁止法違反を未然に防止するための取組

①コンプライアンス担当部署の整備

②経営トップによるコンプライアンスのよびかけ

③独占禁止法遵守マニュアルの作成、研修の実施

④グループ会社のコンプライアンスへの関与

⑤独占禁止法違反に関与した社員に対する処分

・独占禁止法違反を早期発見するための取組

①社内相談体制

②内部通報制度

③独占禁止法に関する社内監査

④同業他社との接触状況の把握、ルール作り

・独占禁止法違反情報に接した場合の対応

①経営トップへの報告

②社内調査実施の意思決定

③自主申告と社内処分の軽減

④有事対処マニュアルの事前整備

講演会状況

テーマ2. 独占禁止法について

（1）独占禁止法の目的

（2）規制内容

「私的独占の禁止」、「不当な取引制限の禁止」、「事業者団体の規制」、「企業結合の規制」、「独占的状態の規制」、「不公正な取引方法の禁止」

特に元請の優越的地位を濫用した具体例をとりあげ、下請法の遵守についても説明されました。

（3）違反した場合の罰則

（4）最近の法改正について

平成25年に改正された審判制度の廃止や排除措置命令に係る意見聴取や訴訟手続きの整備をはじめ、課徴金の変更についても説明されました。

講演する平山勝也弁護士

講演会状況

テーマ3. 裁判例

・不当廉売に該当した例

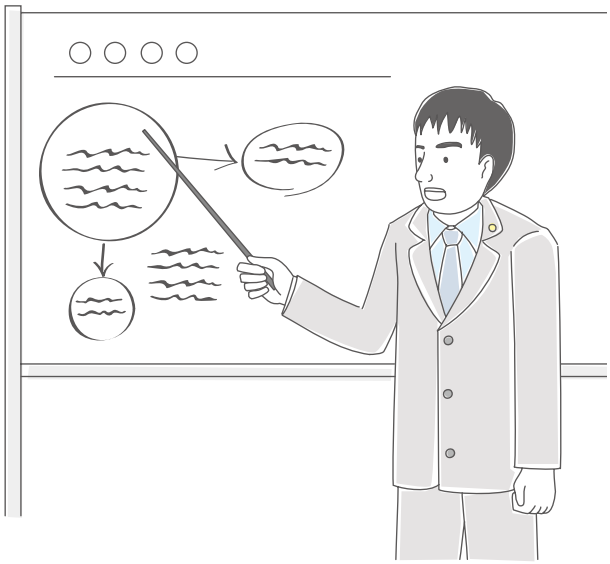
・不公正な取引方法（取引拒絶）に該当した例

・不当な取引制限（談合）に該当した例

工事業者の独占禁止法違反の裁判例をとりあげるとともに、公正取引委員会がホームページに裁判例を掲示していることも紹介され、具体例からみた留意点などを説明されました。

90分間の講習会でしたが、出席者全員がコンプライアンスの重要性を再認識し、今後の行動に反映できる内容でした。

閉会挨拶　青木総括部会長



お知らせ

平成27年度 業務・研究発表会
～継続的な技術研鑽のために～

〈技術部会　品質向上委員会〉

1. はじめに

建設コンサルタンツ協会北陸支部業務・研究発表会は建設コンサルタンツ協会北陸支部会員の業務における優れた成果や研究開発成果の発表を通じて、お互いの技術の研鑽を図ることを目的として開催するものであります。

2. 発表会の概要

発表会の概要は次の通りです。

建設コンサルタンツ協会北陸支部　業務・研究発表会

主　催：(一社) 建設コンサルタンツ協会北陸支部
後　援：国土交通省北陸地方整備局、新潟県

◆日時：平成27年8月7日（金）　13：00～18：00

◆場所：新潟市中央区新光町6番地1　興和ビル　10F第5会議室

◆プログラム
- 基調講演：長岡技術科学大学大学院　都市交通研究室　佐野可寸志　教授
- 業務・研究発表：8名（20分／人）
- 学生講演：長岡技術科学大学・新潟大学から各1名（15分／人）
- 表彰

◆参加費：無料

◆募集人員：100名

◆申し込み方法：参加申し込み用紙に所定の事項を記入の上、(一社) 建設コンサルタンツ協会北陸支部宛、FAXにて申し込みください。

◆申し込み期限：平成27年7月22日（水）
申し込み人数が定員に達した場合は、締め切らせて頂く場合がありますのでお早めに申し込みください。

◆その他：当業務・研究発表会は建設コンサルタンツ協会のCPDプログラムに認定される予定です。

昨年の発表会の様子

昨年の発表会の様子（学生発表）

北陸支部活動報告

平成26年4月10日
北陸支部会計監査受検
場　所／北陸支部会議室
実施者／支部監事　山本　宏司、高堂　景寿
立会者／運営委員長　高田　一博

平成26年4月10日
平成26年度第１回役員会
場　所／興和ビル会議室
議　事／平成26年度監査報告
第32回北陸支部定時総会議案について　他

平成26年4月17日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第１回幹事会
場　所／国土交通省北陸技術事務所
出席者／横山技術部会長

平成26年4月21日
建コンPR冊子配布
場　所／石川県立大学
対応者／平岸委員

平成26年4月23日
建コンPR冊子配布
場　所／石川高専
対応者／平岸委員

平成26年4月24日
平成26年度　北陸支部定時総会
場　所／新潟市内
総　会／第１号議案　平成25年度事業報告
第２号議案　平成25年度決算
監査報告
第３号議案　平成26年度事業計画（案）
第４号議案　平成26年度予算　（案）
講演会／「高速道路をめぐる最近の諸情勢について」
国土交通省道路局高速道路課長　中神　陽一　氏

平成26年5月7日
支部部会長会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度事業計画等について

平成26年5月9日
技術部会道路委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度事業計画について

平成26年5月12日
広報部会会誌委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／会誌「雪の音」、会員名簿の原稿確認について

平成26年5月12日
広報部会広報委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度事業計画等について

平成26年5月14日
平成26年度建設技術報告会第１回実行委員会
場　所／新潟国道事務所
議　題／平成26年度実施計画等について
出席者／佐々木広報委員長

平成26年5月16日
技術部会委員長会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度事業計画等について

平成26年5月21日
学生説明会
場　所／石川高専
対応者／平岸委員

平成26年5月21日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／２名
内　容／初任者技術研修

平成26年5月21日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第２回幹事会
場　所／長岡科学技術大学
出席者／横山技術部会長

平成26年5月22日
総括部会会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度事業計画等について

平成26年5月22日
災害対策部会会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／災害対策北陸現地本部等設置要領等について

平成26年5月28日
平成26年度砂防学会定時総会並びに
研究発表会「新潟大会」（実行委員会）
場　所／新潟市内
出席者／寺本支部長

平成26年5月29日
学生説明会
場　所／金沢工業大学環境土木工学科　３年　40名
対応者／今度トンネル委員会委員、藤本トンネル委員会委員

平成26年5月29日
広報部会広報委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／「親子で見学会」の実施について

平成26年5月29日
建コンPR冊子配布
場　所／新潟大学キャリアセンター
対応者／小見都市計画委員長

平成26年5月30日
土研新技術ショーケースの打合せ
場　所／北陸支部会議室
議　題／「土研新技術ショーケースin新潟」の開催について
出席者／独立行政法人土木研究所　吉田技術推進本部長　他
　　北陸支部　寺本支部長　他

平成26年6月5日
品質向上委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度事業計画及び業務・研究発表会について

平成26年6月3日
広報部会打合せ
場　所／北陸支部会議室
議　事／6.14防災フェスタ展示等について

平成26年6月11日
広報部会打合せ
場　所／北陸支部会議室
議　事／6.14防災フェスタ展示等について

平成26年6月12日
総合防災訓練打合せ
場　所／北陸支部会議室
議　事／6.16新潟県新潟市総合防災訓練について

平成26年6月13日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第3回幹事会
場　所／新潟国道事務所
出席者／横山技術部会長

平成26年6月13日
広報部会会誌委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／会誌「雪の音」、平成26年度会員名簿の配布等について

平成26年6月14日
ふるまち防災フェスタ出展
場　所／新潟市内
内　容／パネル出展

平成26年6月16日
新潟県新潟市総合防災訓練
場　所／北陸支部会議室
内　容／防災訓練本部と支部事務局との情報伝達訓練実施

平成26年6月17日
平成26年度災害復旧事業技術講習会開催の打合せ
場　所／北陸地方整備局
出席者／松浦事務局長

平成26年6月19日
技術部会建設環境委員会
場　所／富山市内
議　事／平成26年度事業計画等について

平成26年6月20日
平成26年度「北陸の建設技術」第１回編集委員会
場　所／高田河川国道事務所
議　題／平成26度活動計画等について
出席者／齋藤会誌編集委員会委員

平成26年6月22日
石川事務所社会貢献活動
白山外来植物除去作業 in 市ノ瀬一斉防除
場　所／白山国立公園
内　容／外来植物除去作業
参加者／34名

平成26年6月23日・24日
講師派遣
派遣先／新潟県土木部
派遣数／１名
内　容／橋梁の維持管理Ⅰ

平成26年6月26日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会平成26年度第１回協議会
場　所／新潟国道事務所
出席者／寺本支部長、横山技術部会長

平成26年6月26日
国総研・土研と本部との意見交換会
場　所／協会本部
出席者／渡辺橋梁委員長、首藤道路委員会委員

平成26年6月27日
総括部会会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度事業計画等について

平成26年6月30日
平成26年度第２回役員会
場　所／新潟市内
議　事／協会本部定例運営会議等報告　他

平成26年6月30日
本部と北陸地方整備局等との意見交換会
場　所／新潟市内
出席者／北陸地方整備局　野田局長他10名
　　新潟県　佐野技監他１名
　　富山県　江幡建設技術企画課主幹
　　石川県　寺西技術管理室課長補佐
　　新潟市　青木都市政策部技術管理センター長他１名
　　本部　大島会長他12名、北陸支部　寺本支部長他22名

平成26年7月2日

広報部会広報委員会

場　所／北陸支部会議室

議　事／「親子で見学会」の実施について

平成26年7月8日

平成26年度　マネジメントセミナー（本部主催）

場　所／新潟市内

講　師／本部担当委員会委員

内　容／建設コンサルタントとマネジメント

PFI事業の今後の展望と建設コンサルタントの役割

CM業務の普及に向けて

建設コンサルタントが取り組む生物多様性の保全と低炭素化

効果的なマネジメントシステムの運用

品質の確保・向上に向けて

参加者／国６名、県１名、政令市２名、会員86名　計95名

平成26年7月9日

河川及び砂防委員会、建設環境委員会合同会議

場　所／北陸支部会議室

議　事／平成26年度講習会の開催について

平成26年7月10日

平成26年度北陸地方建設副産物対策連絡協議会

場　所／北陸地方整備局

出席者／建設環境委員　佐藤委員長

平成26年7月10日

広報部会広報委員会

場　所／北陸支部会議室

議　事／「親子で見学会」の実施について

平成26年7月14日

広報部会広報委員会

場　所／新潟市内

議　事／「親子で見学会」実施に向け関係者と現地調整

平成26年7月22日

平成26年度防災エキスパート講習会（後援）

場　所／新潟市内

内　容／「にいがた地形防災学

－過去からの地図を重ねてみれば－」

講師　奈良間　千之　氏（新潟大学理学部准教授）

「時速200kmの救急治療室

－新潟県ドクターヘリの紹介－」

講師　遠藤　裕　氏

（新潟大学大学院歯学総合研究科救命救急分野教授）

平成26年7月24日

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第4回幹事会

場　所／長岡技術科学大学

出席者／横山技術部会長

平成26年7月25日

道路・トンネル技術講習会

場　所／新潟市内

内　容／「道路構造物の延命化技術～点検から補修・補強まで～」

講師　一般社団法人　日本建設業連合会

清水建設㈱土木技術本部　基盤技術部

コンクリートグループ長　前田　敏也　氏

「未来の道路交通～ITS（高度道路交通システム）の研究開発の現状と将来～」

講師　国土交通省　国土技術政策総合研究所

道路交通研究部高度道路交通システム研究室

主任研究官　松田　奈緒子　氏

出席者／63名

平成26年7月25日

出前講演（立山女性サロンの会）

場　所／富山市内

講　演／「常願寺川の防災対策」

講師　吉川　知弘　氏

平成26年7月30日

総括部会災害対策部会合同会議

場　所／北陸支部会議室

議　事／平成26年度の災害対策等について

平成26年7月30日

建コンPR動画打合せ

場　所／北陸支部会議室

議　事／シナリオ及びキャラクター等調整について

平成26年7月30日

支部部会長会議

場　所／北陸支部会議室

議　事／平成26年度の活動方針について

平成26年8月6日

学生説明会

場　所／金沢大学

対応者／今度トンネル委員会委員、麻田トンネル委員会委員

平成26年8月7日

新潟地域委員会

場　所／北陸支部会議室

議　事／意見交換会等について

平成26年8月8日

建設コンサルタンツ協会北陸支部主催　業務・研究発表会

場　所／富山市内

内　容／基調講演

演題「コンクリート構造の不具合に向き合って」

講師　富山県立大学工学部

環境工学科　伊藤　始　氏

業務・研究発表　８編

学生講演　２編

参加者／110名

平成26年8月8日
GIS講習会（協会本部主催）
場　所／新潟職業能力開発短期大学校
内　容／SIS初級編
参加者／13名

平成26年8月18日
第10回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／新潟市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師　北陸地方整備局　企画部
地方事業評価管理官　大石　登　氏
演題「東日本大震災からの教訓と今後の備え」
講師　（一社）東北地域づくり協会
地域事業部長　山内　芳朗　氏
参加者／175名

平成26年8月19日
第10回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／長野市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師　北陸地方整備局　企画部
技術開発調整官　佐藤　正之　氏
演題「東日本大震災からの教訓と今後の備え」
講師　（一社）東北地域づくり協会
地域事業部長　山内　芳朗　氏
参加者／65名

平成26年8月19日
河川研修会
場　所／信濃川河川事務所管内
内　容／現地調査
柿川放水路排水樋門新設工事　堤防開削現場
講演会　河川堤防の築堤履歴について
講師　長岡技術科学大学
環境建設系　大塚　悟　氏
参加者／37名

平成26年8月19日
広報部会広報委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／「親子で見学会」の実施について

平成26年8月19日
総括部会災害対策部会合同会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度防災訓練等について

平成26年8月20日
第10回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／富山市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師　北陸地方整備局　企画部
技術調整管理官　高島　和夫　氏
演題「東日本大震災からの教訓と今後の備え」
講師　（一社）東北地域づくり協会
地域事業部長　山内　芳朗　氏
参加者／104名

平成26年8月20日
河川及び砂防委員会・建設環境委員会合同会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度講習会の開催について

平成26年8月21日
第10回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／金沢市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師　北陸地方整備局　企画部
技術調整管理官　高島　和夫　氏
演題「東日本大震災からの教訓と今後の備え」
講師　（一社）東北地域づくり協会
地域事業部長　山内　芳朗　氏
参加者／113名

平成26年8月22日
平成26年度北陸防災連絡会議幹事会
場　所／新潟市内
出席者／高田運営委員長、青木総括部会長

平成26年8月22日
第１回土木用コンクリート製品評価委員会
場　所／新潟市内
出席者／坂上対外活動部会幹事

平成26年8月22日
建コンPR動画打合せ
場　所／北陸支部会議室
議　事／動画の企画等について

平成26年8月24日
富山事務所社会貢献活動
富山市主催「ふるさと富山美化大作戦」参加
場　所／富山市　富山駅周辺
内　容／清掃活動
参加者／23名

平成26年8月24日
未来につなぐ7.13水害10周年シンポジウム（後援）
場　所／三条市内
内　容／パネル出展

平成26年8月25日
講師派遣
派遣先／新潟県土木部
派遣数／１名
内　容／橋梁Ⅲ（行政編）

平成26年8月27日
平成26年度第3回役員会
場　所／高岡市内
議　事／協会本部定例運営会議等報告　他

平成26年8月29日
平成26年度北陸地方建設副産物対策連絡協議会
場　所／北陸地方整備局
出席者／佐藤建設環境委員長

平成26年9月1日
防災演習
場　所／北陸支部会議室
内　容／FAX及びメールによる情報伝達訓練
参加者／総括部会、災害対策部会

平成26年9月1日
防災の日講演会（後援）
場　所／新潟市内
内　容／講演「災害に強い地域づくりに向けて」
講師　足立　敏之　氏（前国土交通省　技監）
講演「水管理・国土保全に関する最近の話題」
講師　森北　佳昭　氏
（前国土交通省　水管理・国土保全局長）

平成26年9月2日・3日
講師派遣
派遣先／北陸地方整備局
派遣数／１名
内　容／点検エキスパート（トンネル・土工構造物初級）研修

平成26年9月3日
講師派遣
派遣先／富山県土木部
派遣数／１名
内　容／平成26年度富山県土木部技術職員研修（道路）

平成26年9月4日・5日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／７名
内　容／道路設計

平成26年9月9日
契約のあり方講習会（本部主催）
場　所／新潟市内
内　容／「契約のあり方に関する課題」
講師　建設コンサルタンツ協会
契約のあり方専門委員会　委員　廣瀬　高喜　氏
「土木設計契約上の法的問題」
講師　弁護士　大森　文彦　氏
出席者／国９名、県17名、政令市２名、会員73名　計101名

平成26年9月12日
橋梁現場見学会
場　所／高田河川国道事務所管内
内　容／一般国道８号　海川高架橋　見学
参加者／23名

平成26年9月16日
建コンPR動画打合せ
場　所／北陸支部会議室
議　事／動画の企画等について

平成26年9月16日
平成26年度北陸地方建設副産物対策連絡協議会
新潟県下越分科会　作業部会・分会長会議
場　所／新潟国道事務所
出席者／若尾建設環境委員

平成26年9月17日
新潟地域委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／意見交換会等について

平成26年9月17日・18日
都市計画研修会
場　所／群馬県桐生市及び富岡市
内　容／・桐生市の都市計画、景観施策、桐生新町重要伝統的建造物保存地区における取組について
・富岡市の都市計画及び景観計画、まちづくりについて
参加者／16名

平成26年9月18日
新潟地域委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／意見交換会等について

平成26年9月18日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／５名
内　容／橋梁Ｉ（下部工の設計・施工編）

平成26年9月18日
平成26年度第２回北陸地方整備局新技術活用評価会議
場　所／北陸地方整備局
出席者／涌井河川及び砂防委員長

平成26年9月19日
平成26年度ME養成講座「ME新潟（構造）」
場　所：北陸技術事務所　他
講師派遣　１名

平成26年9月19日
補強土壁工法及び防災・減災工法の技術講習会（協賛）
場　所／新潟市内
内　容／特別講演「より合理的な補強土壁工法を目指して」
講師　中央大学研究開発機構　教授　太田　秀樹　氏
講演「新潟地震50周年について防災を考える」
講師　長岡技術科学大学　教授　大塚　　悟氏
講義「アデムウオール工法の設計・施工マニュアルの概要」
ジオテキスタイル普及委員会委員　竜田　尚希　氏
講義「ジオテキスタイルを用いた道路盛土の耐震強化工法の紹介」
アデムウオール協会　技術委員長　西本　俊晴　氏
参加者／185名

平成26年9月19日
出前講座（大形小学校）
場　所／新潟市立大形小学校
内　容／環境等について
参加者／５年生　172名

平成26年9月25日
建設技術報告会（実行委員会）
場　所／富山市内
内　容／基調講演「北陸地方の塩害及びASRによる劣化事例から学ぶ社会インフラの長寿命化対策」
講師　金沢大学理工研究域
環境デザイン学系　教授　鳥居　和之　氏
技術報告　７テーマ　36技術
展示技術　29技術
参加者／450名

平成26年9月26日
平成26年度ME養成講座「ME新潟（構造）」
場　所：北陸技術事務所　他
講師派遣　１名

平成26年9月29日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／１名
内　容／橋梁Ⅱ（上部工の設計・施工編）

平成26年9月30日
平成26年度北陸地方建設副産物対策連絡協議会
新潟県上越分科会
場　所／高田河川国道事務所
出席者／藤本建設環境委員

平成26年10月1日
講師派遣
派遣先／北陸地方整備局
派遣数／１名
内　容／道路構造物管理実務研修（橋梁初級Ⅰ）

平成26年10月1日
河川及び砂防委員会・建設環境委員会合同会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成26年度講習会の開催について

平成26年10月1日
第30回雪シンポジウム in 上越（後援）
場　所／上越市内
内　容／記念講演「雪工学技術を活かした今後の冬期道路管理」
講師　福原　輝幸　氏
（福井大学大学院工学研究科　教授）
基調講演「雪国の町並み形成をみる」
講師　清水　恵一　氏
（歴史的建造物保存修復研究室アトリエ雁木　主宰）
パネルディスカッション
テーマ１「近年の異常気象とその対応」
テーマ２「雪に負けないまちづくり」
参加者／404名

平成26年10月2日
広報部会会誌委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／会誌122号の確認
会誌123号の計画

平成26年10月2日
広報部会広報委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／「親子で見学会」の実施について

平成26年10月3日
平成26年度ME養成講座「ME新潟（構造）」
場　所：北陸技術事務所　他
講師派遣　１名

平成26年10月3日
道路・トンネル現場見学会
場　所／長岡国道事務所管内
内　容／一般国道253号　八箇峠道路現場見学
八箇峠トンネル（仮称）、南魚沼工区
参加者／24名

平成26年10月3日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
場　所／北陸地方整備局
参加者／寺本支部長

平成26年10月3日
鳥類との共生に関する技術講習会
場　所／新潟市内
内　容／「トキの野生復帰に関する再信の話題について」
環境省佐渡自然保護官事務所
主席自然保護官　広野　行男　氏
「カワウの生態と被害のマネジメントについて」
NPO法人バードリサーチ　高木　憲太郎　氏
出席者／39名

平成26年10月4日
社会貢献活動「親子で見学会」
（後援：新潟国道事務所、新潟県、BPO法人水辺の会）
場　所／新潟市内
内　容／萬代橋、信濃川などの見学（乗船体験）
山の下閘門排水機場の見学
参加者／15名

平成26年10月5日
第25回　土木フェスティバル（後援）
場　所／国営越後丘陵公園
内　容／（１）屋外展示（緑の千畳敷）
土木・防災用機械の展示・体験・実験
（２）屋内展示（暖の館）
パネル・模型など展示
（３）現場見学
参加者／2,238名

平成26年10月7日
講師派遣
派遣先／北陸地方整備局
派遣数／２名
内　容／平成26年度国土交通行政（上級・技術）研修

平成26年10月7日
RCCM登録更新講習会
場　所／新潟市内
参加者／98名

平成26年10月8日
橋梁技術講演会
場　所／新潟市内
内　容／講演１：「アメリカの維持管理設計法LRFR」
長岡技術科学大学
名誉教授　長井　正嗣　氏
講演２：「NEXCOが管理する高速道路における大規模更新・修繕計画の概要」
東日本高速道路㈱技術･環境部
構造技術課　課長　本間　淳史　氏
講演３：「最近の鉄筋コンクリートの床版の損傷事例と調査」
中日本ハイウェイ･エンジニアリング名古屋㈱
道路技術部　担当部長　橘　吉宏　氏
参加者／101名

平成26年10月9日
土研新技術ショーケース2014 in 新潟（共催）
場　所／新潟市内
内　容／土木研究所の新技術紹介及び技術相談
維持管理技術紹介　３技術
コメンテーター
（一社）日本建設業連合会　岩永　克也　氏
北陸地方整備局の講演
北陸地方整備局における最近の話題
北陸地方整備局　地方事業評価管理官　大石　登　氏
環境対策技術紹介　２技術
コメンテーター
（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部　佐藤　朗　氏
特別講演
新潟県中越大震災からの復興10年の歩み
（公社）中越防災安全推進機構
復興デザインセンター長
ながおか市民共働センター長　稲垣　文彦　氏
道路交通管理技術紹介　３技術
コメンテーター
北陸地方整備局　北陸技術事務所長　今野　和則　氏
参加者／245名

平成26年10月10日
新潟地域委員会
場　所／北陸支部会議室
議　事／意見交換会等について

平成26年10月10日
平成26年度ME養成講座「ME新潟（構造）」
場　所：北陸技術事務所　他
講師派遣　１名

平成26年10月11日
都市計画見学会（後援）
場　所／新潟市内
内　容／新潟市中心市街地見学会
柳都文化体験・意見交換会
参加者／16名

平成26年10月14日
講師派遣
派遣先／新潟県土木部
派遣数／１名
内　容／設計業務の品質確保について

平成26年10月14日
平成26年度第4回役員会
場　所／新潟市内
議　事／協会本部定例運営会議等報告　他

平成26年10月14日
北陸地方整備局との意見交換会
場　所／新潟市内
出席者／北陸地方整備局　小口企画部長　他８名
北陸支部　寺本支部長　他22名

平成26年10月15日
新潟県土木部技術管理課との意見交換会
場　所／北陸支部会議室
出席者／新潟県　技術管理課野神政策企画員　他２名
北陸支部　高田運営委員長　他３名

平成26年10月7日
平成26年度ME養成講座「ME新潟（構造）」修了試験
場　所：北陸技術事務所
面接試験：横山技術部会長

平成26年10月17日
出前講座（新潟工業高等学校）
場　所／新潟県立新潟工業高等学校
内　容／道路設計等について
参加者／土木科２年生　39名

平成26年10月17日
独占禁止法の遵守等に関する講習会（共催）
場　所／金沢市内
講　演／委託者・受託者・再委託の法的問題点について
講　師／弁護士　大森　文彦　氏
参加者／34会員52名

平成26年10月19日
防災講演会（共催）
（後援：北陸地方整備局、石川県、富山県、金沢市、及び北國新聞社、北陸工業新聞社）
場　所／金沢市内
内　容／講演　想定外の災害にどう備えるか
～釜石の奇跡に学ぶ～
講師　群馬大学大学院理工学府教授
片田　敏孝　氏
参加者／301名

平成26年10月21日
CPD説明会（協会本部主催）
場　所／新潟市内
内　容／「CPD規定及びWebシステムの改定」
（一社）建設コンサルタンツ協会　CPD委員会
参加者／12名

平成26年10月21日
金沢河川国道事務所との意見交換会
場　所／金沢市内
出席者／金沢河川国道事務所　金澤事務所長　他13名
北陸支部　新家副支部長　他19名

平成26年10月22日
新潟県土木部との意見交換会
場　所／新潟市内
出席者／新潟市　高橋土木部長　他14名
北陸支部　小野塚副支部長　他16名

平成26年10月23日
学生説明会
場　所／長岡工業高等専門学校
３・４年、専攻科　90名
対応者／涌井河川及び砂防委員長、真嶋品質向上委員長、他

平成26年10月23日
中越地震10周年合同追悼式
場　所／長岡市内
出席者／小野塚副支部長

平成26年10月24日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第５回幹事会
場　所／北陸地方整備局
出席者／横山技術部会長

平成26年10月24日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会平成26年度第２回協議会
場　所／北陸地方整備局
出席者／寺本支部長、横山技術部会長

平成26年10月27日
Made in 新潟（土木・建築）新技術展示・発表会（共催）
場　所／新潟市内
内　容／発表技術12技術、展示会　44社83技術
参加者／309名

平成26年10月28日
品質セミナー“エラー防止のために”（本部主催）
場　所／新潟市内
講　師／本部技術委員会照査特別WG委員
内　容／種々の調査・設計分野に現れるエラー事例の紹介、技術的分析、並びに照査の具体的改善について講義
参加者／国８名、県13、政令市５名、会員58名、計84名

平成26年10月29日
広報部会会議
場　所／北陸支部会議室
議　事／平成27年度計画案について

平成26年10月30日
講師派遣
派遣先／富山県土木部
派遣数／１名
内　容／エラー防止と品質向上について

平成26年10月30日・31日
多自然川づくり担当者会議（共催）
場　所／富山市内
内　容／分科会、基調講演、講評、表彰
【基調講演】
名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科
准教授　溝口　敦子　氏
参加者／７名

平成26年11月5日
平成26年度災害復旧事業技術講習会（共催）
場　所／富山市内
内　容／「災害査定業務の支援ツールPhotog-CADについて」
講師　日本建設情報総合センター
北陸地方センター長　帆苅　正昭　氏
「Photog-CADシステム野取扱い操作について」
講師　日本建設情報総合センター
北陸地方センター　杉山　泰彦　氏
「災害採択の基本原則」
講師　北陸地方整備局　企画部
環境調整官　木村　繁　氏
「改良復旧事業について」
講師　国土交通省　水管理・国土保全局　防災課
災害査定官　柳　正市氏
「災害査定における留意事項」
講師　国土交通省　水管理・国土保全局　防災課
災害査定官　柳　正市氏
「災害復旧工法」
講師　公益社団法人全国防災協会
災害復旧技術専門家　野田　猛　氏
「災害発生状況と採択事例」
講師　富山県土木部河川課　防災係
技師　村井　彰伍　氏
参加者／60名

平成26年11月5日
講演会（後援）
場　所／新潟市内
演　題／「河川学」が支える河川･流域の整備と管理
辻本　哲郎　氏（名古屋大学大学院工学研究科教授）
参加者／160名

平成26年11月5日・6日
第４回全国地中熱利用促進地域交流2014新潟（後援）
場　所／新潟市内
内　容／【第一部】「再生可能エネルギー熱利用普及促進に向けた国の施策、地方自治体の取組み」
【第二部】「地中熱利用の事例と課題」
【第三部】パネルディスカッション
「地中熱利用普及に向けての地域団体の役割と組織づくり」
コーディネーター：
長岡技術科学大学教授　上村　靖司　氏
参加者／約400名

平成26年11月6日
平成26年度北陸防災連絡会議
場　所／新潟市内
出席者／高田運営委員長、髙橋災害対策部会委員

平成26年11月10日
北陸支部部会長会議
場　所／支部事務局会議室
議　事／平成27年度事業計画等について

平成26年11月12日
まちづくりセミナー
場　所／高岡市内
内　容／「高岡駅前東地区」の現状・規定計画
　　高岡市都市計画課　総括専門員　赤坂　忠良　氏
出席者／25名

平成26年11月14日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／１名
内　容／コンクリート構造物の維持管理（新潟会場）

平成26年11月14日
富山県景観づくりフォーラム2014
～空き家と景観を考える～（後援）
場　所／富山市内
演　題／景館と古民家再生
　　講師　アレックス・カー氏（東洋文化研究家）
　　パネルディスカッション「空き家と景観を考える」
　　コーディネーター　武山　良三　氏
　　（富山大学芸術文化部長）
　　パネリスト　アレックス・カー氏
　　服部　恵子　氏
　　中谷　元秋　氏
　　富野　敏子　氏
参加者／200名

平成26年11月14日
応用生態工学会第2回北信越事例発表会（後援）
場　所／富山市内
発　表／９事例
講　演／“応用生態工学ならでは”の研究や事業の必要性と方向
　　京都大学防災研究所　准教授　竹門　康弘　氏
参加者／120名

平成26年11月18日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第６回幹事会
場　所／長岡技術科学大学
出席者／横山技術部会長

平成26年11月19日
CIM動向と関連情報講習会（本部主催）
場　所／新潟市内
内　容／CIMを取り巻く関連情報等
　　CIMの最新動向と技術
　　OCFの活動、Open CIM Forumの紹介
参加者／26名

平成26年11月19日
平成26年度北陸地方建設副産物対策連絡協議会
新潟県中越分科会
場　所／長岡国道事務所
出席者／総括部会　高野委員

平成26年11月19日
新潟市との意見交換会
場　所／新潟市内
出席者／新潟市　井村技監　他12名
　　北陸支部　小野塚副支部長　他17名

平成26年11月25日
講師派遣
派遣先／（一財）新潟県建設技術センター
派遣数／１名
内　容／コンクリート構造物の維持管理（上越会場）

平成26年11月26日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会
場　所／新潟市内
内　容／第１回メンテナンスエンジニア（ME）講習会認定授与式
授与者／20名
出席者／横山技術部会長

平成26年11月27日
情報セキュリティ講習会（本部主催）
場　所／新潟市内
講　師／建設コンサルタント業界の情報セキュリティ対策状況
　　変化する情報セキュリティの脅威と対応
　　最近の情報セキュリティ・インシデント事例
参加者／15名

平成26年12月3日
河川講演会
場　所／北陸地方整備局
演　題／気候変動に適応した治水対策のあり方について
　　講師　福岡　捷二　氏
参加者／19名

平成26年12月3日
平成26年度第５回役員会
場　所／新潟市内
議　事／協会本部定例運営会議等報告　他

平成26年12月3日
総括部会・災害対策部会合同会議
場　所／新潟市内
議　事／災害時演習報告と今後の対応について　他

平成26年12月3日
技術部会委員長会議
場　所／新潟市内
議　事／平成26年度報告と平成27年度計画について　他

平成26年12月3日
広報部会
場　所／新潟市内
議　事／平成26年度報告と平成27年度計画について　他

平成26年12月3日
独占禁止法の遵守に関する特別部会
場　所／新潟市内
議　事／平成26年度講習会の開催について　他

平成26年12月3日
本部前川副会長講演会
場　所／新潟市内
演　題／「建設コンサルタントを巡る課題と今後の方向」
（一社）建設コンサルタンツ協会
副会長　前川　秀和　氏
参加者／105名

平成26年12月4日
北陸地方建設事業推進協議会工事施工対策部会
場　所／北陸地方整備局
出席者／技術部会　渡邊道路委員長

平成26年12月11日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会
場　所／富山河川国道事務所
出席者／吉田副支部長

平成26年12月15日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会新潟県部会
場　所／北陸地方整備局
出席者／小野塚副支部長

平成26年12月16日
平成26年度第３回北陸地方整備局新技術活用評価会議
場　所／北陸地方整備局
出席者／涌井河川及び砂防委員長

平成26年12月18日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会石川県部会
場　所／金沢河川国道事務所
出席者／新家副支部長

平成27年1月15日
Made in 新潟（土木・建築）説明会 in 上越（共催）
場　所／上越市内
内　容／社会資本整備を支える建設新技術の紹介
参加者／130名

平成27年1月22日
Made in 新潟（土木・建築）説明会 in 中越（共催）
場　所／長岡市内
内　容／社会資本整備を支える建設新技術の紹介
参加者／142名

平成27年1月22日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会第７回幹事会
場　所／北陸技術事務所
出席者／横山技術部会長

平成27年1月23日
第11回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／新潟市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師　北陸地方整備局　企画部
地方事業評価管理官　大石　登　氏
演題「災害と社会資本整備」
講師　放送大学新潟学習センター
客員教授（新潟大学名誉教授）　大川　秀雄　氏
参加者／250名

平成27年1月26日
第11回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／金沢市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師　北陸地方整備局　企画部
技術調整管理官　高島　和夫　氏
演題「災害と社会資本整備」
講師　放送大学新潟学習センター
客員教授（新潟大学名誉教授）　大川　秀雄　氏
参加者／120名

平成27年1月27日
第11回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／富山市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
講師　北陸地方整備局　企画部
技術調整管理官　高島　和夫　氏
演題「災害と社会資本整備」
講師　放送大学新潟学習センター
客員教授（新潟大学名誉教授）　大川　秀雄　氏
参加者／100名

平成27年1月27日
けんせつフェア北陸 in 金沢2015（仮称）準備会
場　所／北陸地方整備局
出席者／佐々木広報委員長

平成27年1月28日
全国事務局長会議
場　所／協会本部会議室
議　事／CPD制度改正概要等について　他

平成27年1月29日
Made in 新潟（土木・建築）説明会 in 下越（共催）
場　所／新潟市内
内　容／社会資本整備を支える建設新技術の紹介
参加者／200名

平成27年2月3日
設計業務品質確保に関する研究会（WG）
場　所／北陸地方整備局
出席者／横山技術部会長、坂上対外活動部会幹事

平成27年2月4日
平成26年度第６回役員会
場　所／新潟市内
議　事／協会本部定例運営会議等報告　他

平成27年2月4日
協会本部と支部との意見交換会
場　所／新潟市内
出席者／協会本部　大島会長　他11名
　　北陸支部　寺本支部長　他16名

平成27年2月6日
第11回社会資本整備セミナー（共催）
場　所／石川市内
内　容／演題「最近の国土交通行政の取り組みについて」
　　講師　北陸地方整備局　企画部
　　技術開発調整官　佐藤　正之　氏
　　演題「災害と社会資本整備」
　　講師　放送大学新潟学習センター
　　客員教授（新潟大学名誉教授）　大川　秀雄　氏
参加者／60名

平成27年2月6日
北陸地方建設事業推進協議会新施策促進普及部会
場　所／北陸地方整備局
出席者／松浦事務局長

平成27年2月6日
インフラ再生技術者育成新潟地域協議会平成26年度第３回協議会
場　所／北陸地方整備局
出席者／横山技術部会長

平成27年2月6日
北陸地方建設事業推進協議会建設情報広報部会
場　所／北陸地方整備局
出席者／広報部会　佐々木広報委員長

平成27年2月16日
学生説明会
場　所／長岡技術科学大学
対応者／小見都市計画委員長

平成27年2月19日
北陸防災連絡会議専門部会
場　所／北陸地方整備局　他
出席者／髙橋災害対策部会委員

平成27年2月23日
平成26年度「北陸の建設技術」第２回編集委員会
場　所／新潟国道事務所
出席者／齋藤会誌編集委員

平成27年2月27日
北陸防災連絡会議幹事会（第２回）
場　所／北陸地方整備局　他
出席者／高田運営委員長、青木総括部会長

平成27年3月6日
けんせつフェア北陸 in 金沢2015（仮称）第１回実行委員会
場　所／北陸地方整備局
出席者／佐々木広報委員長

平成27年3月11日
平成26年度　北陸ICT戦略推進委員会
場　所／新潟国道事務所
出席者／横山技術部会長

平成27年3月12日
独占禁止法の遵守等に関する講習会
場　所／新潟市内
講　演／コンプライアンスとは…
　　－独禁法と裁判例から考える－
　　講師　弁護士　平山　勝也　氏
参加者／64名

平成27年3月17日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
場　所／北陸地方整備局他２か所とテレビ会議
出席者／寺本支部長

平成27年3月17日
第２回土木用コンクリート製品評価委員会
場　所／新潟市内
出席者／坂上対外活動部会幹事

平成27年3月19日
富山県土木部との意見交換会
場　所／新潟市内
出席者／富山県　林土木部長　他６名
　　北陸支部　吉田富山地域委員長　他８名

一般社団法人　建設コンサルタンツ協会　北陸支部

会　員　名　簿

会　社　名	事業所名	住　　所	電話番号 FAX番号
朝日航洋㈱	北陸空情支社	950-0088 新潟市中央区万代2-3-6 新潟東京海上日動ビル2F	025-249-1150 025-249-1155
旭調査設計㈱		950-0908 新潟市中央区幸西1-1-11	025-245-8345 025-245-8349
アジア航測㈱	新潟営業所	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-28 パーク新潟東大通ビル	025-243-3246 025-247-7969
㈱アルゴス		944-0009 妙高市東陽町1-1	0255-72-3448 0255-72-9426
アルスコンサルタンツ㈱		921-8116 金沢市泉野出町2-1-1	076-248-4004 076-248-4174
いであ㈱	北陸支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-1 カープ新潟ビル	025-241-0283 025-243-5650
㈱エイト日本技術開発	新潟事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-1-20 ステーションプラザ新潟ビル8F	025-256-8611 025-256-8612
エヌシーイー㈱		950-0964 新潟市中央区網川原1-4-11	025-285-8540 025-285-3531
大原技術㈱		940-0856 長岡市美沢3-511	0258-35-4511 0258-36-3254
応用地質㈱	新潟支店	950-0864 新潟市東区紫竹7-27-35	025-274-5656 025-271-6765
㈱オリエンタルコンサルタンツ	北陸支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟	025-244-7881 025-244-7387
開発技建㈱		950-0914 新潟市中央区紫竹山7-13-16	025-245-7131 025-245-7132
㈱開発技術コンサルタント		951-8133 新潟市中央区川岸町3-33-3	025-233-0204 025-233-6465
川崎地質㈱	北陸支店	950-0914 新潟市中央区紫竹山5-7-5	025-241-6294 025-241-6226
基礎地盤コンサルタンツ㈱	北陸支店	950-0925 新潟市中央区弁天橋通1-2-34	025-257-1888 025-257-1880
北建コンサル㈱		933-0941 高岡市内免3-3-6	0766-23-3666 0766-23-3987
㈱キタック		950-0965 新潟市中央区新光町10-2	025-281-1111 025-281-0002
㈱協和		933-0838 高岡市北島1406	0766-22-2100 0766-22-7602
㈱クリエイトセンター		951-8133 新潟市中央区川岸町2-8-1	025-232-7121 025-232-7130
㈱クレアリア	新潟営業所	950-0916 新潟市中央区米山4-19-13 ハイムオカザキ	025-248-2205 025-248-2206

会　社　名	事業所名	住　　所	電話番号 FAX番号
㈱計画情報研究所		920-0025 金沢市駅西本町2-10-6	076-223-5445 076-223-4144
㈱建成コンサルタント		933-0014 高岡市野村284-1	0766-25-6097 0766-25-5697
建設技研コンサルタンツ㈱		933-0007 高岡市角602-1	0766-21-6126 0766-21-6192
㈱建設環境研究所	新潟支店	950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル7F	025-285-6437 025-280-9750
㈱建設技術研究所	北陸支社	950-0088 新潟市中央区万代4-4-27 新潟テレコムビル	025-245-3883 025-241-9082
㈱建設技術センター	新潟営業所	950-0028 新潟市東区小金台9-9 202号室	025-250-8002 025-250-8004
㈱構造技研新潟		950-0932 新潟市中央区長潟388	025-288-6800 025-288-6824
国際航業㈱	新潟支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟	025-247-0318 025-241-4146
㈱国土開発センター		921-8033 金沢市寺町3-9-41	076-247-5080 076-247-5090
国土防災技術㈱	新潟支店	950-2042 新潟市西区坂井1035-1	025-260-2245 025-260-7522
五大開発㈱		921-8051 金沢市黒田1-35	076-240-6588 076-240-6575
サンコーコンサルタント㈱	北陸支店	950-2055 新潟市西区寺尾上4-4-15	025-260-3141 025-268-4950
㈱上智		939-1351 砺波市千代176-1	0763-33-2085 0763-33-2558
新日本技研㈱	新潟事務所	950-3326 新潟市北区柳原3-11-23	025-384-5050 025-384-5051
㈱新日本コンサルタント		930-0142 富山市吉作910-1	076-436-2111 076-436-3050
相互技術㈱		950-0994 新潟市中央区上所2-11-14	025-283-0150 025-283-0152
㈱大東設計コンサルタント	新潟支店	950-0086 新潟市中央区花園2-1-16 三和ビル	025-246-1320 025-247-3740
大日本コンサルタント㈱	北陸支社	930-0175 富山市願海寺633	076-436-7855 076-436-6030
㈱ダイヤコンサルタント	北陸支店	950-2001 新潟市西区浦山4-1-24	025-234-2110 025-234-2111
舘下コンサルタンツ㈱		939-3553 富山市水橋的場234	076-478-0090 076-478-1190
中央開発㈱	北陸支店	950-0982 新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル	025-283-0211 025-283-0212
㈱中部コンサルタント		933-0866 高岡市清水町3-5-9	0766-21-4536 0766-22-4370

会　社　名	事業所名	住　　所	電話番号 FAX番号
㈱長大	北陸事務所	950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル6F	025-288-0271 025-288-0273
㈱千代田コンサルタント	新潟営業所	950-0911 新潟市中央区笹口1-19-31	025-244-8445 025-249-4776
㈱東京建設コンサルタント	北陸支社	950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル	025-248-3870 025-248-3877
東京コンサルタンツ㈱	新潟支店	950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-12 クラスターナインビル8F	025-246-1827 025-246-7463
㈱東洋設計		920-0016 金沢市諸江町中丁214	076-233-1124 076-233-1224
ナチュラルコンサルタント㈱		921-8066 金沢市矢木2-147	076-246-1170 076-246-4493
㈱ナルサワコンサルタント		950-0964 新潟市中央区網川原1-21-11	025-282-2070 025-284-7993
㈱日本海コンサルタント		921-8042 金沢市泉本町2-126	076-243-8258 076-243-0887
日本工営㈱	新潟支店	950-0962 新潟市中央区出来島1-11-28	025-280-1701 025-283-0898
㈱日本港湾コンサルタント	北陸事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-8	025-243-0431 025-241-1806
㈱ニュージェック	北陸支店	950-0911 新潟市中央区笹口2-10-1 WIN21　4F	025-243-4471 025-243-4472
パシフィックコンサルタンツ㈱	北陸支社	950-0917 新潟市中央区天神1-1 プラーカ3　6F	025-247-1341 025-246-1005
㈱パスコ	新潟支店	950-0916 新潟市中央区米山3-1-63	025-243-0051 025-241-8654
㈱プラネット・コンサルタント		920-0353 金沢市赤土町ト95-1	076-268-1206 076-268-1207
北電技術コンサルタント㈱		930-0858 富山市牛島町13-15	076-432-9936 076-432-4280
北陸コンサルタント㈱		939-8213 富山市黒瀬192	076-493-7717 076-493-7720
三井共同建設コンサルタント㈱	北陸事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-8 東大通野村ビル	025-244-2503 025-244-2573
㈱村尾技建		950-0948 新潟市中央区女池南2-4-17	025-284-6100 025-283-0368
明治コンサルタント㈱	北陸支店	950-2002 新潟市西区青山1-1-22	025-265-1122 025-265-1126
八千代エンジニヤリング㈱	北陸支店	950-0088 新潟市中央区万代1-1-1 朝日生命新潟ビル	025-243-5454 025-243-5883
(一社) 北陸地域づくり協会		950-0197 新潟市江南区亀田工業団地2-3-4	025-381-1020 025-383-1205
(一財) 新潟県建設技術センター		950-1101 新潟市西区山田2522-18	025-267-4804 025-267-4854

各部会・委員会委員名簿

北陸支部役員			
	役　職	氏　名	所　属
	顧　問	藤巻　俊二	開発技建㈱
支部理事	支部長	寺本　邦一	開発技建㈱
支部理事	副支部長	新家　久司	㈱国土開発センター
〃	副支部長	吉田　攻	大日本コンサルタント㈱
〃	副支部長	中俣　孝	㈱構造技研新潟
〃	運営委員長	高田　一博	開発技建㈱
〃	運営委員	金子　慶一	㈱国土開発センター
〃	運営委員	大平　豊	エヌシーイー㈱
〃	運営委員	涌井　正樹	㈱キタック
〃	運営委員	瀬川　光太郎	㈱建成コンサルタント
〃	運営委員	大川　重雄	㈱建設技術研究所
〃	運営委員	黒木　康生	㈱日本海コンサルタント
支部監事	支部監事	高堂　景寿	相互技術㈱
〃	支部監事	吉楽　雅博	大原技術㈱

独占禁止法の遵守に関する特別部会			
部会等	役　職	氏　名	所　属
	部会長	寺本　邦一	開発技建㈱
	部会員	新家　久司	㈱国土開発センター
	部会員	吉田　攻	大日本コンサルタント㈱
	部会員	中俣　孝	㈱構造技研新潟
	部会員	齋藤　真晴	開発技建㈱
	部会員	金子　慶一	㈱国土開発センター
	部会員	大浦　淳	大日本コンサルタント㈱
	部会員	西潟　常夫	㈱キタック

対外活動部会			
部会等	役　職	氏　名	所　属
	部会長	寺本　邦一	開発技建㈱
	部会員	新家　久司	㈱国土開発センター
	部会員	吉田　攻	大日本コンサルタント㈱
	部会員	中俣　孝	㈱構造技研新潟
	部会員	田中　義明	大日本コンサルタント㈱
	部会員	長森　孝司	㈱日本海コンサルタント
	部会員	矢田　弘	㈱東京建設コンサルタント
	部会員	目黒　信雄	㈱建設技術研究所
	部会員　幹事	坂上　悟	開発技建㈱

新潟地域委員会	委員長	中　俣　　孝	㈱構造技研新潟
〃	委　員	山　岸　　守	開発技建㈱
〃	委　員	舩　谷　喜代文	旭調査設計㈱
〃	委　員	齊　木　　勝	㈱キタック
〃	委　員	大　塚　　明	エヌシーイー㈱
〃	委　員	折　笠　　昇	㈱開発技術コンサルタント
富山地域委員会	委員長	吉　田　　攻	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	田　中　義　明	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	竹　腰　直　治	北建コンサル㈱
〃	委　員	吉　田　　勉	㈱上智
〃	委　員	大　浦　　淳	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	栄　　知　之	北陸コンサルタント㈱
石川地域委員会	委員長	新　家　久　司	㈱国土開発センター
〃	委　員	髙　嶋　智　晴	㈱国土開発センター
〃	委　員	長　森　孝　司	㈱日本海コンサルタント

総括部会			
部会等	役　職	氏　名	所　属
	部会長	青　木　和　之	エヌシーイー㈱
	部会員	佐　藤　　浩	㈱開発技術コンサルタント
	部会員	大　浦　　淳	大日本コンサルタント㈱
	部会員	浦　　正　光	㈱日本海コンサルタント
	部会員	西　潟　常　夫	㈱キタック
	部会員	清　原　宏　二	開発技建㈱
	部会員	高　野　一　博	大原技術㈱

技術部会			
部会等	役　職	氏　名	所　属
	部会長	渡　邊　雅　樹	開発技建㈱
道路委員会	委員長	神　田　和　久	開発技建㈱
〃	委　員	木　村　　浩	エヌシーイー㈱
〃	委　員	首　藤　直　樹	㈱クリエイトセンター
〃	委　員	木　下　裕　康	㈱国土開発センター
〃	委　員	古　池　　豊	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	藤　本　勇　一	㈱東洋設計
〃	委　員	池　渕　　稔	東京コンサルタンツ㈱
橋梁委員会	委員長	渡　辺　正　三	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	近　藤　　治	開発技建㈱
〃	委　員	渡　邉　　敦	エヌシーイー㈱
〃	委　員	大　竹　　滋	㈱キタック
〃	委　員	南　雲　　浩	㈱構造技研新潟
〃	委　員	笹　谷　輝　彦	㈱国土開発センター
〃	委　員	小　原　隆　一	㈱東洋設計
〃	委　員	寺　田　直　樹	㈱開発技術コンサルタント

河川及び砂防委員会	委員長	涌　井　　正　樹	㈱キタック
〃	委　員	永　矢　　貴　之	㈱建設技術研究所
〃	委　員	亀　田　　満	㈱国土開発センター
〃	委　員	佐　藤　　裕　司	五大開発㈱
〃	委　員	岡　田　　和　美	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	須　田　　玲	エヌシーイー㈱
〃	委　員	木　村　　幸　雄	開発技建㈱
〃	委　員	金　子　　幸　生	相互技術㈱
トンネル委員会	委員長	今　度　　充　之	東京コンサルタンツ㈱
〃	委　員	須　貝　　浩	エヌシーイー㈱
〃	委　員	麻　田　　正　弘	アルスコンサルタンツ㈱
〃	委　員	平　野　　吉　彦	㈱キタック
〃	委　員	雪　田　　真　吾	サンコーコンサルタント㈱
〃	委　員	辻　本　　勝　彦	㈱国土開発センター
都市計画委員会	委員長	小　見　　直　樹	エヌシーイー㈱
〃	委　員	佐　藤　　吉　一	開発技建㈱
〃	委　員	荘　司　　洋　文	㈱キタック
〃	委　員	新田川　　貴　之	㈱国土開発センター
〃	委　員	酒　井　　信　次	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	埒　　正　浩	㈱日本海コンサルタント
建設環境委員会	委員長	佐　藤　　朗	開発技建㈱
〃	委　員	稲　葉　　弘　之	アルスコンサルタンツ㈱
〃	委　員	若　尾　　明　弘	エヌシーイー㈱
〃	委　員	高　橋　　靖	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	西　　暢　人	㈱日本海コンサルタント
〃	委　員	藤　本　　隆　則	㈱キタック
〃	委　員	平　野　　博　範	㈱国土開発センター
品質向上委員会	委員長	真　嶋　　利　寿	エヌシーイー㈱
〃	委　員	伊　藤　　信　哉	開発技建㈱
〃	委　員	森　　将　恒	㈱キタック
〃	委　員	西　村　　治	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	若　林　　修	東京コンサルタンツ㈱
〃	委　員	野　村　　尚　樹	㈱日本海コンサルタント
〃	委　員	山　森　　茂　明	㈱クリエイトセンター
〃	委　員	高　橋　　辰　夫	㈱開発技術コンサルタント
情報委員会	委員長	樋　浦　　慎	開発技建㈱
〃	委　員	内　山　　徹	エヌシーイー㈱
〃	委　員	島　　健	㈱キタック
〃	委　員	大　関　　一　成	㈱クリエイトセンター
〃	委　員	兼　政　　孝　臣	㈱国土開発センター
〃	委　員	渡　辺　　浩　二	大日本コンサルタント㈱

若手技術者ワーキンググループ	リーダー	竹　内　　聡	開発技建㈱
〃	サブリーダー	片　岸　将　広	㈱日本海コンサルタント
〃	委　員	七郎丸　一　孝	㈱国土開発センター
〃	委　員	伊　藤　裕　章	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	松　尾　内　助	㈱キタック
〃	委　員	新　郷　恭　弘	エヌシーイー㈱
〃	委　員	山　田　知　広	㈱建成コンサルタント
〃	委　員	榊　原　　稔	㈱建設技術研究所
〃	委　員	福　崎　正　和	㈱構造技研新潟
〃	委　員	青　木　隆　幸	相互技術㈱
〃	委　員	佐　藤　洋　子	㈱構造技研新潟
〃	委　員	佐　藤　　恵	相互技術㈱

広　報　部　会			
部　会　等	役　職	氏　名	所　属
	部会長	佐々木　大　介	㈱ナルサワコンサルタント
広報委員会	委員長	髙　橋　邦　夫	開発技建㈱
〃	委　員	浜　辺　良　彦	相互技術㈱
〃	委　員	泉　　英　樹	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	瀧　上　　彰	アルスコンサルタンツ㈱
〃	委　員	芳　野　夏　輔	㈱建設技術研究所
〃	委　員	新　川　行　男	㈱国土開発センター
〃	委　員	梶　原　　亘	パシフイックコンサルタンツ㈱
〃	委　員	大　蔵　欣　司	㈱建成コンサルタント
〃	委　員	高　橋　宏　明	開発技建㈱
〃	委　員	今　野　　健	エヌシーイー㈱
会誌編集委員会	委員長	須　藤　勝　彦	㈱国土開発センター
〃	委　員	猪　俣　孝　之	大日本コンサルタント㈱
〃	委　員	齋　藤　浩　幸	㈱キタック
〃	委　員	熊　倉　孝　次	㈱クリエイトセンター

災　害　対　策　部　会			
部　会　等	役　職	氏　名	所　属
	部会長	寺　本　邦　一	開発技建㈱
新潟現地対策本部	本部長	寺　本　邦　一	開発技建㈱
〃	副本部長	中　俣　　孝	㈱構造技研新潟
〃	技術総括指揮者	髙　橋　邦　夫	開発技建㈱
〃	副責任者	木　村　幸　雄	開発技建㈱
富山現地対策本部	本部長	寺　本　邦　一	開発技建㈱
〃	副本部長	吉　田　　攻	大日本コンサルタント㈱
〃	技術総括指揮者	渡　辺　正　三	大日本コンサルタント㈱
〃	副責任者	林　　達　夫	大日本コンサルタント㈱
石川現地対策本部	本部長	寺　本　邦　一	開発技建㈱
〃	副本部長	新　家　久　司	㈱国土開発センター
〃	技術総括指揮者	笹　谷　輝　彦	㈱国土開発センター
〃	副責任者	西　川　幸　成	㈱国土開発センター

編集後記

はじめての日本列島横断新幹線が開業し新潟平野を快走したのが昭和57年11月15日、平成27年3月14日に日本海側をはじめて走る北陸新幹線が開業しました。首都圏との時間的な距離が短くなり、古い街並みや伝統文化が残る金沢市や、立山連峰など自然豊かな富山県などの沿線が観光客でにぎわっているようです。新潟県では北陸新幹線上越妙高駅が新しくつくられ、佐渡航路の新造高速カーフェリー「あかね」が就航し佐渡へのアクセスがよくなり、直江津と小木を人やクルマを載せて短時間で行き来できるようになりました。

石川県能登地方を舞台に朝の連続テレビ小説「まれ」が放送されています。家族と暮らしているヒロイン津村希が、輪島市に存在すると設定された外浦町と横浜市を舞台にパティシエとして成長していく物語です。輪島市ならびに隣接する珠洲市でロケが行われていました。珠洲市と佐渡小木間を結ぶ高速船が就航しています。能越自動車道、七尾氷見道路の開通もありました。今注目の観光スポットとなっているのではないでしょうか。

今が旬の北陸、いろいろなところに出かけたいものです。

熊倉孝次

発　行 ／ 一般社団法人　建設コンサルタンツ協会　北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階
TEL 025-282-3370　FAX 025-282-3371

会誌編集委員会

委員長 ／ 須藤　勝彦

委　員 ／ 齋藤　浩幸　　猪俣　孝之　　熊倉　孝次

発　行

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階

TEL 025-282-3370　FAX 025-282-3371

http://www.hr-jcca.jp/